

平成19年第1回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件名	質問要旨	備考	
6番 小松 晃 (一問一答方式)	1. 平成19年度町政執行の施策について	(1) 平成22年完了見込みの道々インター通りのその先の整備計画を今から明らかにしておく必要があるのではないかと。		
		(2) 公住清水団地が、下水道の供用開始と併行して進めることになっていたが、調査くらいは手掛けて良いと思うが。		
		(3) 漁業振興で「なまこ」「はたはた」とあるが、その以前には「うに」「あわび」、その後「かき」も手掛けたが、何れも今いちだったが、今度は可能性があるのか。		
		(4) 永年町職員が事務局長を兼務しているが、社協の体制充実には専任事務局長等も視野に入れているのか。		
		(5) 入江地区のスポーツ施設整備構想はいつまで検討が続くのか。もう結論を出す時期ではないのか。		
		2. 行政改革大綱・実施計画について	(1) 執行方針も含め「職員の意識改革を」が多く見られるが、行財政改革に対する職員の意識はかなり低いと見ているのか。	
			(2) 具体的実施計画39項目中13項目が職員の職務や給料・手当に言及しているが、そのことが職員の士気・資質の低下に連なりはしないか。	
			(3) 主な数値目標の歳入確保と負担適正化6千万円は小さ過ぎないか。又歳出では目標全体の54%4億5千万円が職員給与削減となっているが、これを主たる目的とした計画ではないか。	
		21番 佐々木 良一 (一問一答方式)	1. 合併効果の検証について	(1) 新町発足後一年弱ですが、この一年を振り返りかえり、合併効果等についてどの様な受け止め方をしているのか具体的内容について伺います。
	2. 行財政改革について		(1) 行財政改革大綱を受けた集中改革プランが示されているが、その中心的考え方、短期・中期・長期に向けた具体的取り組み内容について伺います。	

	3. 地産、地消の取組みについて	(1) 合併により、観光・漁業・農業を抱える洞爺湖町が誕生し、その特性を生かした新たな域内活動が求められる所です。 地元産物を生かした地産、地消について の考え方、具体的内容について伺います。	
18番 立野 広志 (一問一答方式)	1. サミット開催と地域への影響について	(1) サミット開催地を要請しているが、洞爺湖町周辺地域での開催となった場合の課題や効果などをどのように認識されているか。 (2) 財政負担や住民生活、一般観光客におよぼす影響についての予測は。 (3) 今後の対応について	
	2. 水質汚濁防止法の改正による、温泉旅館などへの影響にどう対処されるか。	(1) ホウ素、フッ素、チッ素の暫定排水基準が今年6月30日で期限切れとなり、温泉旅館などで水質汚濁防止法にもとづく排水規制が強化されるが、どういう認識か。 (2) 暫定措置の延長もしくは規制の撤廃を求めていく考えはないか。	
	3. 教育行政について	(1) 全国一斉学力テストへの対応について。 ・受験産業に個人情報、氏名明記、塾通いの有無まで調査。 ・全国学力テストが競争教育を激化させ、子どもと学校を区別、序列化する事にならないか。 (2) いじめアンケートの結果とその対応。 (3) 高校教育の現状と今後の対応について。	
14番 沼田 松夫 (一問一答方式)	1. 旧Cゾーン地域の指定撤廃後の対策と洞爺湖町の振興策について	(1) Cゾーン指定撤廃の後、その対象の地区の説明会でどんな要望が出たか。 温泉地区は何が出されたか。 入江地区はどんなことが。 (2) その要望にどこまで応えられたのか。 (3) 同じ様に指定された洞爺湖温泉地区は『魅力ある街づくり事業』が進展し明るい未来を目指しているが、本町地区の入江地区の未来はどうなるのだろうか。 (4) 温泉地区の冬季の観光策をどうするのか。 花火観光に陰りはないか。	

		(5) 温泉地区の空き店舗の活用策はないのか。	
		(6) わが町の農産品や海産品の活用法について、町内の流通法を考えては。	
		(7) 新たな農産品、海産品の開発はないのか。	
24番 七戸輝彦 (一問一答方式)	1.平成19年度町政執行方針に関して	(1) 夕張市が財政再建団体になったことなどで、当町住民の中にも不安が広がっている。検討されている事業の見直しも行うべきではないか。	
		(2) A E Dの配置が始まるが、より具体的な配置計画を伺いたい。	
	2.洞爺湖サミットについて	(1) 「洞爺湖サミット」に対する町長の期待と、誘致の決意を伺いたい。	
		(2) 過去の国内開催地の経費負担等は調査・研究されているか。	
	3.窓口職員の待遇について	(1) 職員の待遇についてはどのように訓練されているのか。また、講習会等の考えは。	
23番 松井保明 (一問一答方式)	1.福祉計画について	(1) 自立支援法に基づく「障がい福祉計画」策定について町の考えは。	
		(2) 策定委員の構成とその内容(策定期限)	
		(3) 策定後の取扱いについて(議決事項又報告のみ)	
	2.新型鳥インフルエンザについて	(1) 国又道からの指導通達及び指針についての内容は。	
		(2) 危機管理の面から、町と地元医師又病院との関係はどうなっているのか(情報交換など含め)	
		(3) 発病時における町としての対応は。 (事業所、学校又住民への連絡)	
	3.洞爺地区農業地域の活性化について	(1) 農村滞在型余暇活動(グリーン・ツーリズム)について町としての考えは。	
		(2) グリーン・ツーリズムの「市町村計画」について策定する考えはないか。	

13番 篠原 功 (一問一答方式)	1. サミット誘致に向け 万全の受入れ体制で 臨むには	(1) 今後予測(想)される問題点は何か。	
		(2) 関係機関(国、道、町等)、民間施設、 地域も含め連携を取り成功させるべきと 考えるが。	
		(3) 実現に向けて仮称「誘致協議会」設置の 考えはあるか。又町の担当窓口はどこか。	
	2. 行革大綱推進につい て	(1) 事業毎の投資効果について、事後評価、 検討をする必要があると考えるが(補助 金、交付金も含めて)、いつ誰がするの か。今までと変わった手法を示せ。	
		(2) 職員からの提案制度を積極的に導入し、 すぐれた案件、成果の上がった事柄など 表彰し、職員の志気を高める考えはない か。	
		(3) 財政健全化の為、職員給料の見直しも検 討されている様だが、職員の意識高揚の ためにも成績優秀な職員、特別な努力が 認められた職員に対しても特別手当など、 給料に差をつけ優遇する考えはないか。	
		(4) 地域と協働し、推進する中で行政と住民 がきずなを深める為に、全町内会に担当 職員の配置制度の導入は考えられないか。	
3番 板垣正人 (一問一答方式)	1. 平成19年度町政執 行方針について	(1) 温泉地区、洞爺地区、虻田本町地区の商 店街活性化対策の具体的な内容は。	
		(2) ビジターセンター及び新火山科学館の利 用協議会の中身と今後の運営方法は。 又駐車場の活用方法は。	
	2. 少子化対策について	(1) 出産育児一時金(35万円)の委任払い 制度を洞爺湖町として実施すべきと思う が町の考えは。	
10番 中村千世子 (一問一答方式)	1. 定率減税の縮減によ る保育料に及ぶ影響 について	(1) 06年に所得税の定率減税が半減したこ とにより、07年の保育料は前年の所得 税額によって決まることから、所得に変 化がなくても保育料の階層区分が上がっ てしまう可能性がある。その実態認識を もたれているのか。	

